



循環器内科
上原 明彦医師

第一回

心臓CTのご紹介



心臓は、休むことなく全身に血液を送り続けている大切な臓器です。その大切な心臓を取りまく動脈を冠動脈といい、酸素や栄養を供給しています。その冠動脈が狭くなると狭心症、詰まってしまうと心筋梗塞という病気になって現れ、状態を検査、画像化するには今までは心臓カテーテル検査という検査が必要でした。

心臓カテーテル検査は精度の高い重要な検査法ではありますが、手や足の動脈から冠動脈へカテーテルという細い管を挿入し、その血管に造影剤を流し込むことで血管の狭窄・閉塞を調べる検査であり、時間・簡便性などの点で課題もあります。

今回、ご紹介させていただく心臓CT検査は、造影剤を腕の静脈から入れて冠動脈を造影する新たな検査法で、当院でも2016年10月から導入致しました。これにより、今までのCTではできなかった冠動脈の画像化が当院でもできるようになっています。

心臓CTは心臓カテーテル検査の1歩手前として守衛番(ゲートキーパー)となるのが期待されますが、すべての方へ実施できるわけではありません。第二回目以降に詳しく説明します。

	心臓CT	心臓カテーテル検査
入院	不要 (外来)	通常1泊 (安静等のため)
実施場所	静仁会で可能	専門機関へ紹介
造影方法	腕の静脈	手首または足の動脈
検査時間	およそ20分	およそ30分



CT撮影装置



心臓、冠動脈の立体画像

研修医紹介

前田 拓哉 医師

12月の1ヵ月間を前田医師にお越しいただきました。



趣味：食べ歩き 麻雀

北海道大学病院2年目研修医の前田拓哉と申します。実は、すでに大学の皮膚科に入局しておりますが、地域医療で1ヶ月間お世話になりました。半年間ほど内科から離れていたため、患者さんや職員の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、一次から三次まで何でもありの研修で目一杯楽しんで学ぶことができました。ありがとうございました。



レラ～Rera～





院長
井齋 偉矢

2017年新春のお慶びを申し上げます。当院は開院以来、365日24時間オープン診療体制を堅持してきましたので、当院の正面玄関は閉まったことがありません。年末年始もどうぞ安心下さい。

来年度の予算では、政府は医療費をさらに抑制しようとしていて、特に高齢者の負担が増えるようです。病院のみならず、一般の企業でも「安全管理」は第一義的に考えられています。これを各個人レベルでみると、人の安全管理とは「健康管理」です。より精度の高い安全管理＝健康管理をしようとするれば、コストがかさむのは自明のことです。医療費が多くなることはそんなに悪いことなのでしょうか。しかし、現実として患者さんの負担が増える制度になるのであれば、病院としては収益を減らさずに、患者さんの負担も増やさない方策を考えていかなければ、地域に貢献することにはなりません。今年もこの基本線を維持して頑張りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



看護部長代行
細川 真喜子

新年明けましておめでとうございます。昨年診療報酬の改定や、地域医療構想の策定等が行われ、医療、介護面で 変革が問われる年となりました。そんな中で、当院は地域に根ざし、地域の皆様に寄り合い、地域に貢献できる病院を目指して邁進していきたいと考え、活動しました。

その活動のひとつとして、小学生、中学生、高校生の職場体験があります。病院に足を運んで頂き、医療の現場を体験し、将来この地域に貢献できる若い力を育てていけたらと切に考え、行ってきました。幸い、昨年は多数の生徒さん達が参加して下さい、関心の高さを知ることができました。この活動はこれからも長く続けて行かなければならないと実感しております。

患者様から「ありがとう」の言葉を頂けるような看護、介護に心がけ、地域の皆さまが安心して医療を受けられる手助けを行っていきたくて考えております。本年もどうぞよろしくお願い致します。



事務長
狩野 義宗

皆様明けましておめでとうございます。旧年中は、静仁会静内病院に格別なご理解・ご鞭撻を賜りましてありがとうございます。さて、日本の医療環境は政府によりかなりのスピードで医療制度改革、医療保険制度改革が進もうとしております。しかし、その多くが地方の街や村に住む者たち、そして高齢者にとって、多くの部分で取り残されていく印象を受けるのは私だけでしょうか？

本年は、病棟の再編成などを視野に入れ、最大限地域医療に貢献できる病院運営を進めてまいります。

職員一同、昨年より更に努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



健康友の会 会長
山口 芳伸

皆様方には輝かしい新年を迎えられまして誠にありがとうございます。今後ますますのご健康とご多幸を心からお祈りいたしております。

各地にて多発しております各種災害から身を守るために、当院が毎年実施されている避難訓練に参加し体得下さるようお願い申し上げまして新年のご挨拶と致します。

また、健康友の会では毎年パークゴルフやぶどう狩りなど各種行事を楽しく実施しております。会員様を随時募集しておりますので入会もご検討いただければ幸いです。

[健康友の会]

年会費 1,000円

お申込み 静仁会静内病院 TEL:0146 - 42 - 0701

事務局 土生（はぶ）まで

院長の独り言

～心理状態と病気の関係性とは～



人間の心理状態が病気を引き起こすことはよく知られています。ひと昔前の未開な土地では、呪われることで、精神や身体に異常を来し、ひどい場合には死に至ることもありました。

私の外来にも、メンタルクリニックや心療内科にかかって、鎮静薬や睡眠導入薬を処方されても、一向に症状のよくなる患者さんが受診されることがあります。彼らの心理状態で根本的な問題を示す代表的なキーワードが「自信喪失」と「(広い意味での)怒り」です。

自信喪失



人間は自信をなくしますと、身体にも変調を来すことが多くなります。どうしてそうなるかと言いますと、「心の目」が、自分の周りの外界よりも自分の身体に注がれるのです。例えば、たまに一回脈が抜けたり(心室性期外収縮)しますと致死性不整脈が心配になったり、指先がちょっとしびれたら脳梗塞が心配になったりします。このような心配は、心配事が実際に起るまで続きますので、あたかも重病になるのを待っているかのようです。勿論「気にするな」「心配するな」という助言は全く無意味です。

そこで桂枝加竜骨牡蠣湯(けいしかりゅうこつぼれいとう)の登場です。この漢方薬を飲んで2、3週もしますと、不思議と自信が湧いて来て、「心の目」が自然と外を向いてくれるようになり、心配事が氷解していきます。

世の中には腹の立つことが多いのですが、いちいち「怒り」を爆発させては身が持ちません。押さえ込みますと、「怒り」は心の奥底に溜まっていきます。これが、交感神経を緊張させて、特にいろいろな場所の痛みとなって現れることが知られています。神経障害性疼痛とか心因性疼痛と言われるもので、鎮痛薬の効果はほとんどありません。鎮静薬に「怒り」を鎮める効果はありませんが、抑肝散(よくかんさん)という漢方薬には「怒り」を鎮める効果があります。おおよそ2週間以内に効果が出て来て、「怒り」が鎮まるのに並行して痛みも楽になっていきます。

怒り



～看護部・部署紹介～



訪問看護



当院の訪問看護室では3名の看護師が在宅へ伺い、ケアを実施しております。現在登録患者様は25名で、町内はもとより、厚賀、春立、御園といった遠方へも出かけて行きます。患者様の体調チェック、内服薬の管理、往診の介助等健康管理のお手伝いをします。時には入院の介助を行ったり、体調の変化で臨時的訪問をしたりします。そんな時「寒い中ありがとう」「急に来てもらってすまないね」などねぎらいの言葉を頂く事があります。スタッフ一同やりがいを感じる瞬間です。これからも笑顔を決やさず頑張ります。

